馬術

チームワークで連覇

森裕悟が最優秀選手に

◀浅見恵一主将の鮮やかな飛越

関東学生馬術争覇戦（障害）が5月10、11日にJRA馬事公苑で行われ、専大は見事2年連続優勝に輝いた。

「ミスもあったが、皆で補えたことが良かった」と浅見恵一主将（商4・金光大阪高）が語るように、今大会はチームで助け合う場面が多かった。予選から順調に勝ち進み、決勝で強豪・明大と対戦。2対2の同勝ち点の中、5番手はキリマンジャロ号・浅見主将。序盤、1つバーを落とすものの、途中でリズムを立て直すと、一気に駆け抜け、ゴール。僅か2・37秒差で勝ち点を奪う。最終走者ウィニングエッヂ号・森裕悟（商2・関東第一高）も、ノーミスで通過し、勝負を決めた。

また、全試合を通して安定した騎乗を見せた森は、最優秀選手にも選ばれた。

試合後、浅見主将は「今大会で各自が悪い所を確認出来たと思う。この教訓を生かしたい」と気持ちを今月28日から始まる関東学生馬術大会に切り替えていた。この勢いで昨年の関東学生を制した明大という壁を乗り越えてほしい。

（山室　綱寛・文3）